



改めて教育目標が目指す姿を考えました

学校にとって教育目標は、国での憲法に当たります。教育目標に示されていることが目指すべき子どもの姿であり、その姿を達成するために学校の教育というものはあります。ただし、教育目標というのは、子どもの人格の完成を目指して育てていった姿ですので、表現としてはどうしても漠然としたものになりがちです。各学年の発達段階によっても異なりますが、具体的にはどのような姿を目指すのかを整理することによって子どもたちを適切に導いていく目安になるのではないかと考えています。

現在、犬伏東小学校の教育目標は4つあります(開校当初は5つありました)。物事は何事も基礎・基本が大切ですが、小学校教育では特にそのことが重要視されます。ここで身に付けた基礎・基本の力はどのような場面で生かされていくのでしょうか。なぜ、学習したり規律ある行動をしたりしなければならぬのかを問われているようでもあります。教育目標が子どもたちの将来のどこにつながるかを整理してみると、

①元気でがんばる子ども

→最低限の生活や労働に耐えうる体力の保持と長寿の全う

②よく考える子ども

→自立できるための初等義務教育としての学力(運転免許取得や様々な手続きに必要な力、様々な取扱説明書の理解力、新聞・メディア等からの情報収集・判断力、ITやキャッシュレス社会に対応できる力など)

③思いやりのある子ども

→可愛がられる素直な心(初めは誰でも組織の歯車として働き始めるので、たとえすぐには自分ができなくても教えてもらうためのあいさつ、コミュニケーション、謙虚さ)、互いに助け合って家庭生活や社会生活を送るためのスキル

④進んで働く子ども

→評価を気にしない当然に求められる勤勉さ(様々な社会インフラを支えていく担い手としての姿勢、相手によって態度を変えない信頼される姿)

などであるのかなと思います。しかし、考えてみればどれも社会生活を営んでいく中では当たり前のこと、普遍的なことのように思います。地道なことではありますが、いつの時代も初等義務教育に求められるのは基礎・基本の力です。これらのことが身に付いた子ども像を目指してこれからも努力してまいります。

図書館を利用しよう!

本校では図書館の1年間の貸出冊数の目標を立てています。全校では12000冊。1人当たりになると約43冊です。学校ではありませんが、都道府県ランキングでは図書館の1人当たりの1年間での貸出冊数は次のようになっています(2014年度)。

1位	東京都	7.77冊
2位	滋賀県	7.76冊
3位	山口県	6.58冊
4位	福井県	6.52冊
5位	大阪府	6.46冊



ちなみに栃木県は5.09冊で20位でした。

図書館の貸出冊数と学力に明確な相関関係があるかは何とも言えませんが、様々な調査結果から読書習慣は学力と相関関係にあるようです。写真は休み時間の図書館の様子。天候や新型コロナウイルス対応の関係もありますが、貸出などの条件が元に戻れば利用者が増えるのかなと思います。学校では更に図書館の利用や読書習慣の指導を進めていきます。ご家庭においても家読について引き続きご協力のほどお願いいたします。読書好きな子を共に育てていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応に伴う 主な行事等の変更予定について

新型コロナウイルスへ感染症への対応に伴い、諸行事等の変更予定があります。現段階では前号N o 6でお知らせした行事やその他の行事等が変更予定となります。また、実施についてまだ検討中の諸行事もあります。今後の状況によっては更に変更する場合がありますが、子どもたちの安全第一を考慮してのことですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各諸行事の詳細については時期が近付きましたら別途通知いたします。

- ① 6年修学旅行 1月4日(水)～5日(木)仙台・福島方面の予定でしたが日帰り2日(福島1日・県内1日)にしての実施を予定しています。
- ② 児童会ウォークラリー 9月23日(水)予定でしたが今年度は行いません。代替の催しを検討しています。
- ③ 演劇教室 10月21日(水)予定でしたが今年度は行いません。
- ④ 5年自動車工場見学 検討していますが、実施が難しい場合は行いません。
- ⑤ 5年海浜宿泊学習 2月1日(月)～3日(水)予定でしたが今年度は行いません。代替の催しを検討中です。